

(様式2)

事業所名: 尼崎ケアセンターそよ風

目標達成計画

作成日: 令和 3年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	22	外出・戸外への散歩の機会が作れておらず、ベランダでの外気浴の支援が中心となっている。	日常的に施設の外周や近隣の公園など、密や接触を避けて意識的に外出の機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・両ユニットで協力し合う。 ・定期的な外出支援が出来るように、スタッフ間で支援時間を意識的に作る。 ・気候がよい日にはベランダで外気浴を行い、散歩等のお誘いを意識的に行う。 	12ヶ月
2	3	運営推進会議が中止となり、地域や家族様との意見交換の場が失われている。また、取り組みの書いたファイルを施設内のいつでも閲覧できる場所に置いている。	運営推進会議が中止となっても、積極的に意見交換の場を作っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の開催月と合わせて、家族様へアンケートを取り、施設との意見交換の場を作る。 ・アンケートに基づいた取り組みや運営推進会議録は、運営推進会議の開催月に合わせて、家族様へ郵送する。 ・コロナ終息後は、地域や家族様の要望を聞き、会議を活用しミニイベントを実施する。 	12ヶ月
3	18	毎年センターとしてコンプライアンス研修の一環としてプライバシー保護を学んでいる。原則敬語で話すこととして、気になる言動があれば管理者が職員を呼んで注意する。職員間で注意し合うが、難しいケースもある。	プライバシー保護についてチームで学びの機会を意識的に作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム独自で1か月に1回短時間のグループワークで共有する研修を設け、職員間の意識統一を図る。 ・毎月のユニット会議の際には、注意喚起として資料を配布し、自己学習を促す。 	12か月
4	8	医療体制や後見人制度など、家族が不安に感じている点の解決	施設の医療連携体制の詳細説明をし、後見人制度や地域包括支援センターの案内を配布し、情報提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主に契約時に医療連携体制の詳細説明をし、後見人制度や地域包括支援センターについても情報提供する。 ・後見人制度や地域包括支援センターのリーフレットを施設内に置く。 ・運営推進会議で定期的に議題に上げ共有する。 	12か月
5					月

(様式3)

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()